

2023年10月1日

日本国土開発未来研究財団 学術研究助成事業  
2023年度選考結果のお知らせ

(財)日本国土開発未来研究財団  
東京都港区虎ノ門4-3-13  
代表理事 森岡 義美

平素は、当財団事業にご理解とご支援を賜り深く御礼申し上げます。

本年6月1日から7月21日までの期間において募集された「2023年度学術研究助成事業」に対し、申請書をもとに厳正な審査を行った結果、全19件の申請の中から下記5件を2023年度学術研究助成事業として採択することを理事会にて承認、決議致しましたことをご報告申し上げます。なお2021年度及び2022年度助成対象研究のうち下記6件継続助成することも併せて決議したことをお知らせ致します。

記

<2023年度採択新規助成>

- ・近畿大学社会環境工学科環境系工学専攻 高畠 知行 准教授  
「最適な津波避難行動を学習可能な新たな津波防災技術の開発と有効性の検証」
- ・大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻 緒方 奨 助教  
「貯留層造成型地熱発電の実現を目指した熱 - 流体 - 応力 - 破碎 - 化学連成数値シミュレータの開発」
- ・東京大学生産技術研究所 清田 隆 教授  
「丸太杭を活用した浅層地盤改良による宅地の液状化被害軽減メカニズムと対策効果の検証」
- ・海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所  
地震防災研究領域耐震構造研究グループ 毛利 惇士 研究官  
「砂質土のせん断変形特性に基づく地盤反力構成モデルの開発」
- ・海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所  
地盤研究領域地盤改良研究グループ 佐藤 樹 研究官  
「要素試験を通じた火山性軽石の力学特性解明と斜面防災手法の新規検討」

<2022年度採択継続助成>

- ・筑波大学システム情報系社会工学系 谷口 守 教授  
「相反する「分散」「コンパクト」概念を最適融合する新たな都市・国土構造の提案」
- ・早稲田大学創造理工学部社会環境工学科 秋山 充良 教授  
「南海トラフ地震による強震動と津波を想定したレジリエンス強化のための構造工学的アプローチ」
- ・岡山大学学術研究院生命科学学域 赤穂 良輔 准教授  
「定期的な水底地形実測を導入した陸水域の流れと水底地形変動の予測手法の開発と実用化」
- ・大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻 村田 秀則 助教  
「交通不便地における持続可能な交通サービスを対象とした地域指向デザイン手法の提案」

<2021年度採択継続助成>

- ・山口大学大学院創成科学研究科 太田 岳洋 教授  
「定量化地生態学的手法による斜面災害危険度評価手法の開発」
- ・東京電機大学未来科学部 吉本 貫太郎 教授  
「新しい電力変換器D-EPCを用いた電動モビリティの電力変換損失低減の研究」

以上